

## 編集後記

東日本大震災から5年が過ぎようとしています。全国のみならず世界中から支援を受け、官民一体となって復興に取り組んできた結果、本県では津波に大打撃を受けた沿岸部でも暮らしに落ち着きを取り戻してまいりました。特に漁業関係の復興はめざましいと伺っております。建設関係ではかさ上げ工事や港、復興道路の整備等インフラの復興は進んでいるものの、また新たな課題にも直面しています。そして時が経つにつれて記憶の風化もささやかれるようになっていきます。

私自身、あの惨状を目にした時の、「何とかなくては」と湧き上がるような使命感、と呼ぶには若干違和感のある本能のような感情をつい忘れてしまいそうな自分に気づくこともあります。この記録誌編纂を通して発災直後から5年間の取り組みを振り返り、地元建設業の今後進むべき姿を改めて考える良い機会となりました。

本文の中でも、実際に被災地で作業した人の貴重な経験談、各支部長からはオール岩手の取り組みが語られ、寄稿して下さった方々からは専門的な立場からの示唆に富んだお話をいただいております。

未曾有の災害の中で地元建設業者が果たした役割を正しく発信するとともに、記録として伝えていくことが、各地に残る石碑のように後世の災害対策に役立つことを願ってやみません。

お忙しい中原稿を寄せていただいた皆様、インタビューに応じて下さった方々には心から感謝いたします。また、記録誌編纂の終始にわたりご尽力くださった㈱日刊岩手建設工業新聞社の長嶺記者には厚く御礼申し上げます。

編集委員長

一般社団法人岩手県建設業協会 副会長

広報委員会 IT部会長 向井田 岳

記憶を思いに 未来につなげる  
震災復興5年の記録 これからも地域とともに

---

発行日	平成28(2016)年3月1日
発行人	(一社)岩手県建設業協会 〒020-0873 岩手県盛岡市松尾町17番9号 電話 019-653-6111 FAX 019-653-6113
編集委員長	向井田岳
編集委員	下河原大希 佐々木信行 佐々木栄洋 小原学 佐々木利幸 佐々木一嘉 紀室裕哉 青木健一 増田富也 藤澤邦雄 村上純也 小笠原智美
編集・印刷	㈱日刊岩手建設工業新聞社 〒020-0015 岩手県盛岡市本町通3丁目9番33号 電話 019-623-8201 FAX 019-622-5119